

別 紙

第53回 静岡県公衆衛生研究会 優秀演題ホームページ掲載要旨

分 科 会 名	第 3 分科会	演題番号	3 1 5
題 名	鶏における <i>Escherichia albertii</i> の分離状況		
所 属	食肉衛生検査所		
氏 名	菊池朋恵、福澤拓喜、松岡孝尚、大畑克彦、早川敦子		
要 旨 (簡 潔 に)	<p><i>Escherichia albertii</i>は平成15年に新種として発表された菌種であり、ヒトと鳥の感染症を起こすことが知られている。<i>E. albertii</i>に汚染された食品を摂取することで食中毒を引き起こすことがあり、県内でも平成28年に本菌を原因とした食中毒が発生している。しかし、本菌の媒介食品についての報告は少ない。</p> <p>そこで今回、鶏における<i>E. albertii</i>の分離状況について調査したところ、一部の検体から本菌特異的遺伝子が検出されたが、菌分離はできなかった。このことは大腸菌などの他の菌に埋もれてしまったことが原因として考えられ、本菌の分離方法には検討が必要であることがわかった。</p>		